



## 試験検査成績書

GreenBack株式会社 様

食第K00514-1号

2020年6月29日

一般社団法人東京都食品衛生協会  
東京食品技術研究所  
〒175-0083 東京都板橋区蓮池 1-19-10

ご依頼の試験品の試験検査結果は以下のとおりです。

受付日	2020年6月16日
試験品	NANOTiO2
付記事項	
検査内容	マウスに対する急性毒性試験(経口)
備考	

### 試験検査結果

試験方法	①投与液の調製 試験品に精製水を加えて10%懸濁液としたものを投与用試料とした。 ②使用動物および投与方法 マウス(ddY系、雄、5匹)を投与前4時間絶食させ、経口ゾンデ針を用いて胃内に1回強制投与した。投与量は体重1kg当たり試験品2g相当量。 ③観察方法と期間 投与後の異常の有無について、24時間観察した。
観察結果	マウスに異常を認めない。

\*本成績書を転載する場合は当研究所の承認を受けてください。

## マウスに対する急性毒性試験(経口・24時間)

検査機関 一般社団法人東京都食品衛生協会 東京食品技術研究所

### 試験方法

- ①投与液を調製  
試験品に精製水を加えて20%懸濁液としたものを投与用資料とした。
- ②使用動物および投与方法  
マウス(ddY系、雄、5匹)を投与前4時間絶食させ、経口ゾンデ針を用いて胃内に1回強制投与した。投与量は体重1kg当たり試験品4g相当量。
- ③観察方法と期間  
投与後の異常の有無について、24時間観察した。

### 試験品

NANOTiO2

### 試験結果

## マウスに異常を認めない

マウス実験により人が誤飲してもリスクが少ない事が証明された。



## 試験検査成績書

食第K00514-2号

2020年7月13日

GreenBack株式会社 様

一般社団法人東京都食品衛生協会  
東京食品技術研究所  
〒175-0083 東京都板橋区徳丸 1-19-10

ご依頼の試験品の試験検査結果は以下のとおりです。

受付日	2020年6月16日
試験品	NANOTiO2
付記事項	
検査内容	マウスに対する急性毒性試験(経口)
備考	

### 試験検査結果

試験方法	①投与液の調製 試験品に精製水を加えて10%懸濁液としたものを投与用試料とした。 ②使用動物および投与方法 マウス(ddY系、雄、5匹)を投与前4時間絶食させ、経口ゾンデ針を用いて胃内に1回強制投与した。投与量は体重1kg当たり試験品2g相当量。 ③観察方法と期間 投与後の異常の有無について、2週間観察した。
観察結果	マウスに異常を認めない。

\*本成績書を転載する場合は当研究所の承認を受けてください。

## マウスに対する急性毒性試験(経口・1週間)

検査機関 一般社団法人東京都食品衛生協会 東京食品技術研究所

### 試験方法

#### ①投与液を調製

試験品に精製水を加えて20%懸濁液としたものを投与用資料とした。

#### ②使用動物および投与方法

マウス(ddY系、雄、5匹)を投与前4時間絶食させ、経口ゾンデ針を用いて胃内に1回強制投与した。投与量は体重1kg当たり試験品4g相当量。

#### ③観察方法と期間

投与後の異常の有無について、1週間観察した。

### 試験品

NANOTiO2

### 試験結果

## マウスに異常を認めない

マウス実験により人が誤飲してもリスクが少ない事が証明された。





## 試験検査成績書

食第K00513号  
2020年7月1日

Green Back 株式会社 様

一般社団法人東京都食品衛生協会  
東京食品技術研究所  
〒175-0083 東京都板橋区練馬 1-19-10



ご依頼の試験品の試験検査結果は以下のとおりです。

受付日	2020年6月16日
試験品	NANOTiO2
付記事項	
検査内容	抗菌効果試験
備考	供試菌:大腸菌、黄色ブドウ球菌

### 試験検査結果

試験方法	<p>1. 供試菌 大腸菌 (<i>Escherichia coli</i> NBRC 3972) 黄色ブドウ球菌 (<i>Staphylococcus aureus subsp. aureus</i> NBRC 12732)</p> <p>2. 試験菌液の調製 供試菌を普通寒天培地に移植し35℃で24時間培養後、1コロニーを普通ブイオン培地に接種し、35℃で18時間振とう培養した。この菌液を滅菌リン酸緩衝希釈水を用いて希釈調製した。</p> <p>3. 試験操作 試験品10mLに、上記2で調製した試験菌液0.1mLを添加し、35℃で24時間静置培養した。静置培養後の生菌数を標準寒天培地を用いて測定した。なお、空試験として、1/500濃度普通ブイオン培地10mLに試験菌液0.1mLを添加したものを同様に試験した。</p>		
試験結果	供試菌	大腸菌	黄色ブドウ球菌
	初発菌数	250,000/mL	280,000/mL
	24時間経過後の菌数		
	試験品	0/mL	0/mL
	空試験	12,000,000/mL	360,000/mL

\*本成績書を転載する場合は当研究所の承認を受けてください。

## 抗菌効果試験

検査機関 一般社団法人東京都食品衛生協会 東京食品技術研究所

### 試験方法

NANOTiO2 mlに対し、大腸菌25万個・黄色ブドウ球菌28万個を投入し24時間経過後の菌数を測定

### 試験品

NANOTiO2

### 試験結果

大腸菌や黄色ブドウ球菌が繁殖しやすい環境下(35℃・栄養を入れた水)で保管し、24時間培養後に測定した菌数はそれぞれ0であった

供試菌	大腸菌	黄色ブドウ球菌
初発菌数	250,000/mL	280,000/mL
<b>24時間経過後の菌数</b>		
試験品	0/mL	0/mL
空試験	12,000,000/mL	36,000,000/mL